Instructions for Use

■User's Manual

RadiForce®
RS210

Color LCD Monitor

English

Deutsch

Français

中文

日本語

Important

Please read this User's Manual carefully to familiarize yourself with safe and effective usage. Please retain this manual for future reference.

Wichtig

Lesen Sie die dieses Benutzerhandbuch aufmerksam durch, um sich mit der sicheren und effizienten Bedienung vertraut zu machen. Bewahren Sie dieses Handbuch zum spateren Nachschlagen auf.

Important

Veuillez lire attentivement ce Manuel d'utilisation afin de vous familiariser avec ce produit et de l'utiliser efficacement et en toute securite. Veuillez conserver ce manuel pour reference ulterieure.

重要

请仔细阅读用户手册，掌握如何安全、有效地使用本产品。
请保留本手册，以备日后参考。

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

EIZO®

For U.S.A. , Canada, etc. (rated 100-120 Vac) Only

FCC Declaration of Conformity

We, the Responsible Party	EIZO Inc.
	5710 Warland Drive, Cypress, CA 90630
	Phone: (562) 431-5011
declare that the product	Trade name: EIZO
	Model: RadiForce RS210

is in conformity with Part 15 of the FCC Rules. Operation of this product is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

* Reorient or relocate the receiving antenna.
* Increase the separation between the equipment and receiver.
* Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
* Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Note

Use the attached specified cable below or EIZO signal cable with this monitor so as to keep interference within the limits of a Class B digital device.

- AC Cord
- Shielded Signal Cable (Enclosed)

Canadian Notice

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de le classe B est comforme à la norme NMB-003 du Canada.

取扱説明書

RadiForce®
RS210

カラー液晶モニター

日本語

電源などの差異がありますので、日本国内でのご購入、ご使用の際は、本書の日本語のページをご覧ください。
その他の国、地域でのご購入、ご使用の際は、その他の言語のページをご覧ください。

当製品を用いる装置を設計・使用する場合は、IEC60601-1-1 の規格要求に従って下さい。

絵表示について

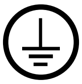
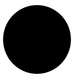
本書では以下の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば は「分解禁止」を示しています。
	「アース線を接続すること」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCI の技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

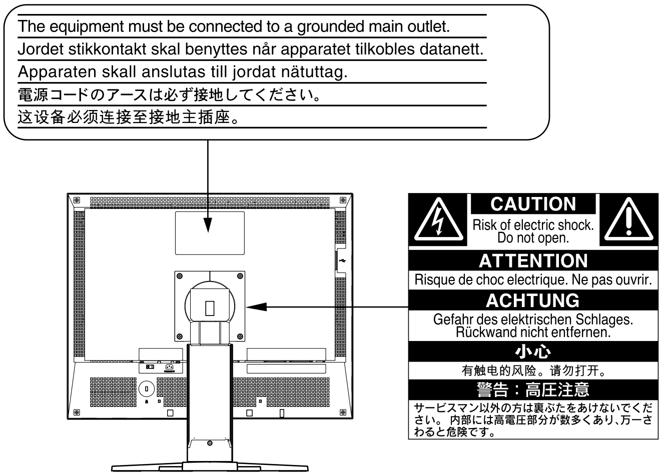
製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

使用上の注意

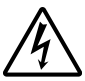
重要

- この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

● 警告表示位置



● 本体に使われている記号

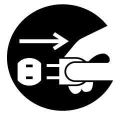
記　号	意　味
○	主電源スイッチ この製品の主電源をオフにします。
｜	主電源スイッチ この製品の主電源をオンにします
⏻	電源ボタン この製品の電源をオンまたはオフにします。
～	交流
	危険警告・感電
	注意 本書内、「絵表示について」参照

日本語

⚠ 警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店または EIZO サポートに連絡する

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。

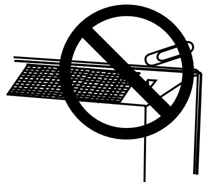
修理は販売店または EIZO サポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

異物を入れない、液体を置かない

本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

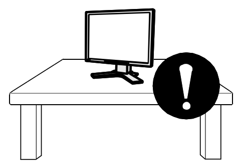
万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店または EIZO サポートにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。

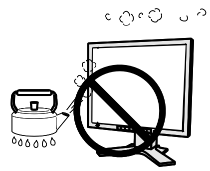
万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店または EIZO サポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両･船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 水滴のかかる場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。
- 直射日光が直接製品に当たる場所。
- 可燃性ガスのある環境。



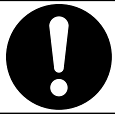
プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

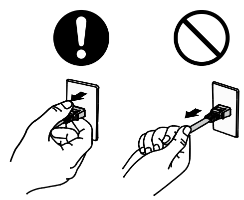
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

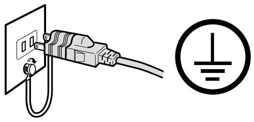
コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



⚠ 警告

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

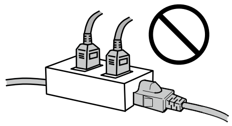
なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



次のような誤った電源接続をしない

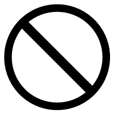
誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
- タコ足配線。



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



電気的な安全確保のため、接続コードの取り付け・取り外しは、患者がいない場所でおこなう

雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。

アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。設置する前に、アームやスタンドを固定する机や壁などに十分な強度があるか確認してください。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店または EIZO サポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のねじを使用し、確実に固定してください。

液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。
万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。

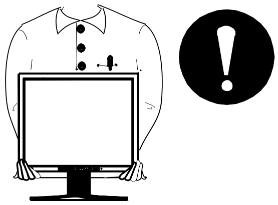
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない

蛍光管バックライトには水銀が含まれているため（LED バックライトを使用した製品は水銀を含有していません）、廃棄は地方自治体の規則に従ってください。水銀は、体の震え、記憶喪失、頭痛など、神経系の障害を引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意

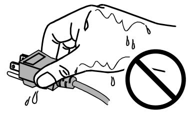
運搬のときは、接続コードやオプション品を外す
コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。

本製品を移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つ
落としたりするとけがや故障の原因となります。

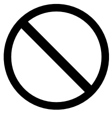


通風孔をふさがない
・通風孔の上や周囲にものを置かない。
・風通しの悪い、狭いところに置かない。
・横倒しや逆さにして使わない。
通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。

濡れた手で電源プラグに触れない
感電の原因となります。

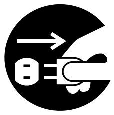


電源プラグの周囲にものを置かない
火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。

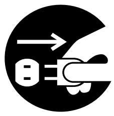


電源プラグ周辺は定期的に掃除する
ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。

クリーニングの際は電源プラグを抜く
プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く



この装置は患者の周囲に設置できますが、患者との接触には適していません

モニターについて

本製品は、MRI や CT などの医用画像表示用途に適しています。

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約 30 分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをおすすめします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.8）参照）。

画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店または EIZO サポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングのしかた

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参 考

- キャビネットやパネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせてやさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に約 10 分の休憩を取ってください。

もくじ

日本語

第 1 章　はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1 - 1. 特長

- 表示解像度：2M ピクセル（横型表示 1600 × 1200 ドット（H × V）
- DisplayPort 対応（8bit または 10bit に対応、音声は非対応）
- 3 系統信号入力搭載（DVI-I × 2、DisplayPort × 1）
- 最適なキャリブレーションモードを選択できる CAL Switch(キャルスイッチ) 機能搭載
  3-3　表示モード（CAL Switch モード）を選ぶ（P.23）参照
- DICOM（P.44）Part 14 に準拠した画面選択が可能
- キャリブレーションが可能な品質管理ソフトウェア「RadiCS LE (Windows 用)」添付
- マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェア「ScreenManager Pro for Medical（Windows 用)」添付
- フレーム同期モード対応周波数： 59 ～ 61Hz
- 著作権保護技術 HDCP 対応
- 縦型表示対応（時計回りに 90°回転）

1 - 2. 梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店または EIZO サポートにご連絡ください。

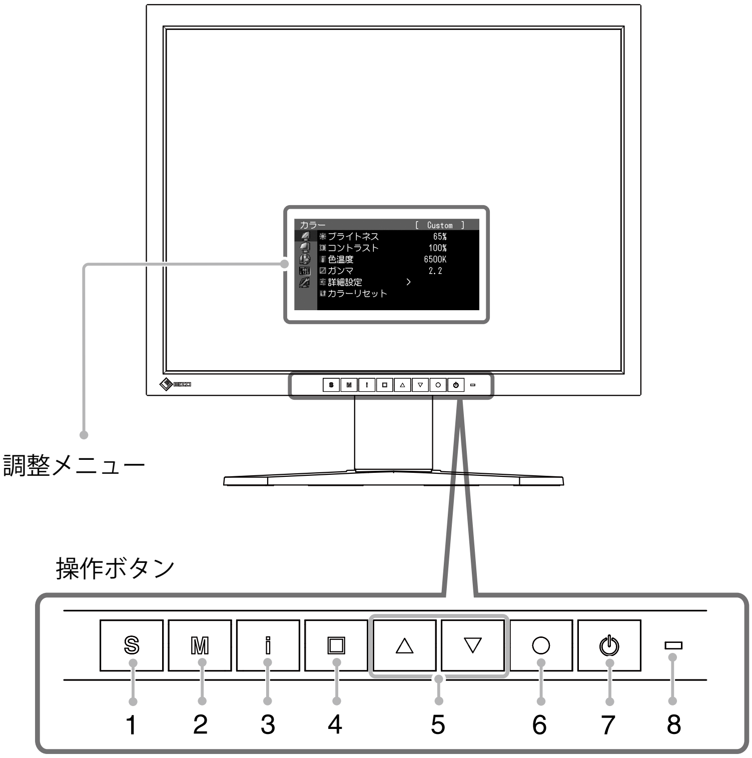
- モニター本体
- 電源コード (二芯アダプタ付）
- デジタル信号ケーブル（PP200）
- デジタル信号ケーブル（FD-C39）
- EIZO USB ケーブル（MD-C93）
- EIZO LCD ユーティリティディスク
- 取扱説明書（本書）
- 保証書
- 出荷試験報告書
- ユーザー登録のお願い
- お客様ご相談窓口のご案内

参考

- 梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。

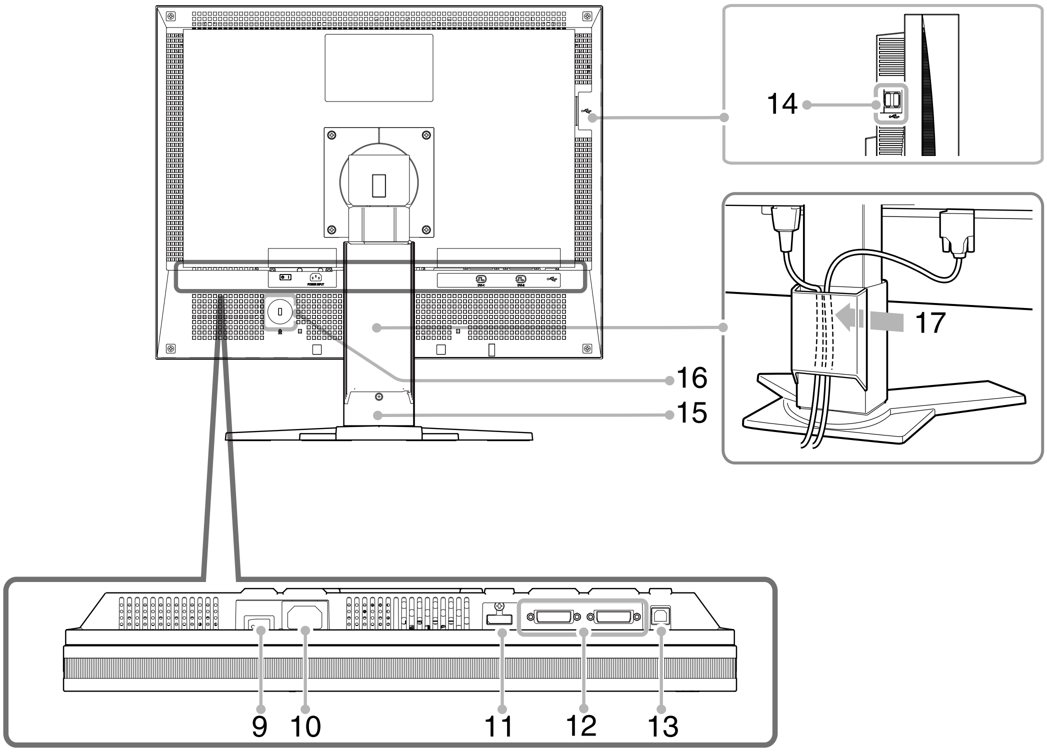
1 - 3. 各部の名称

前面



1	S ボタン	2 台以上のコンピュータを接続している場合に、表示する入力信号を切り替えます。
2	M ボタン	CAL Switch モードを切り替えます。
3	i ボタン	モニターや入力信号に関する情報を表示します。
4	□ ボタン	調整メニューを終了させたり、キャンセルする場合に使用します。
5	△ ▽ ボタン	• 調整メニューを使って詳細な調整をする場合に、調整項目を選択したり、調整値を増減します。 • 明るさ（ブライトネス）を調整します。
6	○ ボタン	調整メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。
7	⏻ ボタン	電源のオン / オフを切り替えます。
8	電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 青：　画面表示 橙：　省電力モード 消灯：　主電源スイッチ / 電源ボタンオフ

背面



9	主電源スイッチ	主電源のオン / オフを切り替えます。
10	電源コネクタ	電源コードを接続します。
11	信号入力コネクタ	DisplayPort コネクタ× 1
12	信号入力コネクタ	DVI-I コネクタ× 2
13	USB ポート（UP）	USB 接続が必要なソフトウェア、USB ハブ機能を使用する場合に USB ケーブルを接続します。
14	USB ポート（DOWN）	USB に対応している周辺機器と接続できます。
15	高さ調整付きスタンド※	高さと角度が調整できます。
16	盗難防止用ロック	Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
17	ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。

※ 本機はモニターの縦型表示に対応しています。（時計回りに 90°回転させることができます。）
また本機はスタンド部分を取り外してアーム（別のスタンド）を取り付けることができます（P. 36）。

第 2 章　接続する

2 - 1. 接続の前に

今まで使用していたモニターを本機に置き換える場合、コンピュータと接続する前に、下表を参考にして、必ず本機で表示できる解像度、周波数に変更しておいてください。

参考

- DDC に対応したシステムの場合、本機をコンピュータに接続するだけで特別な設定をすることなく、最適な解像度、リフレッシュレートの設定が可能になります。

● アナログ信号入力時

解像度	対応信号	垂直周波数	ドットクロック
640 x 480	VGA	60 Hz	170MHz（最大）
640 x 480	VESA	～ 85 Hz	
720 x 400	VGA TEXT	70 Hz	
800 x 600	VESA	～ 85 Hz	
1024 x 768	VESA	～ 85 Hz	
1152 x 864	VESA	75 Hz	
1280 x 960	VESA	60 Hz	
1280 x 1024	VESA	～ 75 Hz	
1600 x 1200	VESA	60 Hz	
1200 x 1600		60 Hz	

● デジタル信号（DVI-I）入力時

解像度	表示モード	垂直周波数	ドットクロック
640 x 480	VGA	60 Hz	164.5 MHz（最大）
720 x 400	VGA TEXT	70 Hz	
800 x 600	VESA	60 Hz	
1024 x 768	VESA	60 Hz	
1280 x 960	VESA	60 Hz	
1280 x 1024	VESA	60 Hz	
1600 x 1200	VESA	60 Hz	
1200 x 1600		60 Hz	

● デジタル信号（DisplayPort）入力時

解像度	表示モード	垂直周波数	ドットクロック
640 x 480	VGA	60 Hz	164.5 MHz（最大）
720 x 400	VGA TEXT	70 Hz	
800 x 600	VESA	60 Hz	
1024 x 768	VESA	60 Hz	
1280 x 960	VESA	60 Hz	
1280 x 1024	VESA	60 Hz	
1600 x 1200	VESA	60 Hz	
1200 x 1600		60 Hz	

2 - 2. 接続手順

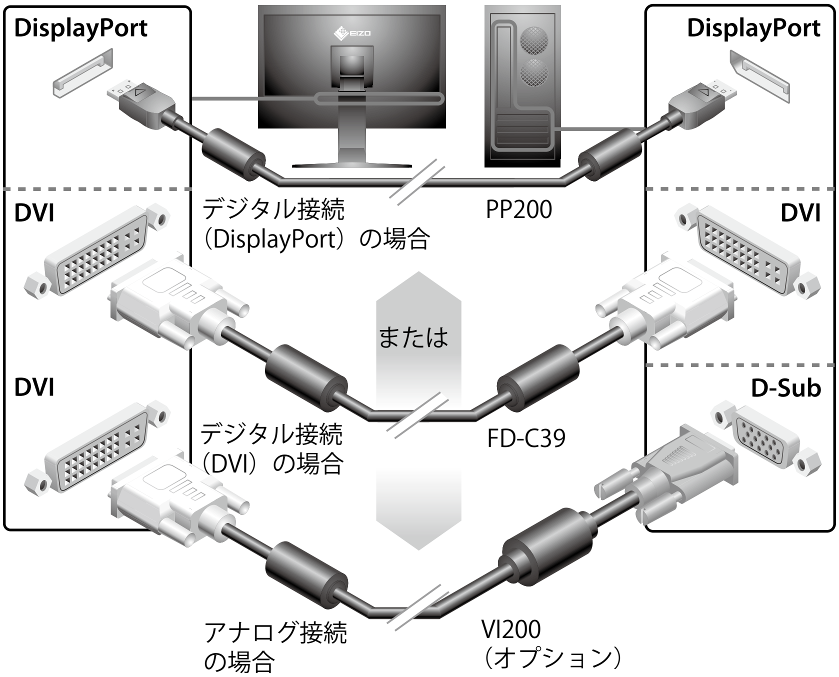
注意点

- モニターとコンピュータの電源が入っていないことを確認してください。
- 接続の際はコンピュータの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

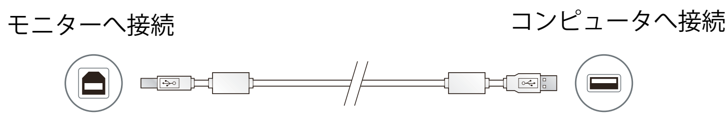
1 信号ケーブルを信号入力コネクタとコンピュータに接続します。

コンピュータのコネクタの形状を確認して、ケーブルを接続してください。

信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。



2 RadiCS LE または ScreenManager Pro for Medical を使用する場合には、USB ケーブルを接続します。



3 付属の電源コードをモニターの電源コネクタと電源コンセントに接続します。

4 ⏻ を押して、モニターの電源を入れます。

モニターの電源ランプが青色に点灯します。

5 コンピュータの電源を入れます。

画面が表示されます。

アナログ信号を入力してモニターとコンピュータの電源を初めて入れると、セルフアジャスト機能（自動画面調整機能）が働き、クロック、フェーズ、ポジションを自動的に調整します。

コンピュータの電源を入れても画面が表示されない場合は、「第 4 章　こんなときには（P. 33）」を参照してください。

注意点

- 使用後は、電源を切ってください。
- 完全な節電のためにはモニターの電源を切ることをおすすめします。また、主電源スイッチをオフにすることで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。

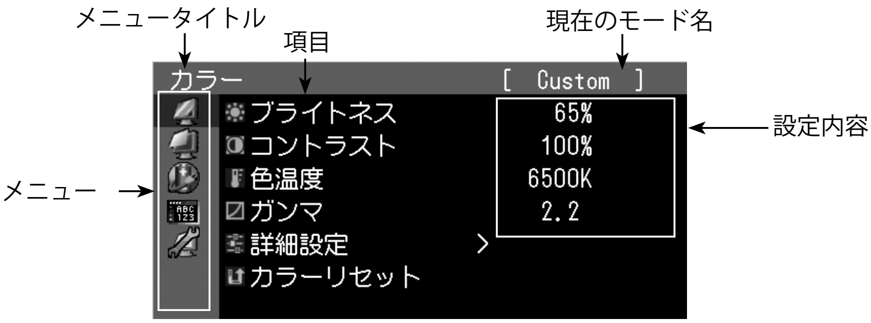
第 3 章　設定と調整をする

3 - 1. 基本操作と機能一覧

調整メニューの基本操作方法

1 調整メニューの表示

○を押し、調整メニューを表示します。



2 調整 / 設定

1. △▽で、調整 / 設定したいメニューを選択し、○を押します。

2. △▽で、調整 / 設定したい項目を選択し、○を押します。

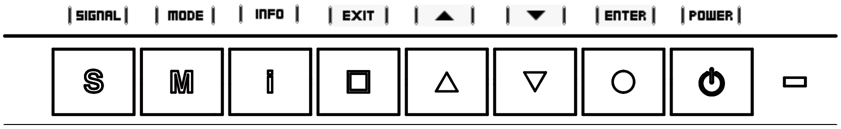
3. △▽で、調整 / 設定し、○を押して確定します。

3 終了

□を数回押すと、メニューを終了します。

ボタンガイドを表示する

フロントボタン（⏻ボタン除く）を押すと、ボタンの上にボタンガイドが表示されます。（縦置きにしている場合には、ボタンの横に表示されます。）



参考

- 調整メニューおよびモードメニュー表示中は、ボタンガイドが常に画面に表示されます。
- ボタンガイドの表示は、表示しているメニューや状態によって異なります。

日本語

機能一覧

調整メニューの調整および設定項目一覧表です。

メインメニュー	項目		調整 / 設定内容
カラー	ブライトネス		「3-3. カラー調整をする」(P.23)
	コントラスト		
	色温度		
	ガンマ		
	詳細設定	色合い	
		色の濃さ	
		輪郭補正	
		ゲイン	
		6 色調整	
	カラーリセット		「3-11. お買い上げ時の設定に戻す」(P.32)
スクリーン	画面サイズ		「3-4. 推奨解像度以外でご使用の場合」(P.28)
	画像回転		「3-8. 設置方向を設定する 」(P.30)
	アナログ調整	自動調整	「3-2. 画面を正しく表示する」(P.19)
		レンジ調整	
		クロック	
		フェーズ	
		水平ポジション	
		垂直ポジション	
PowerManager	パワーセーブ		「3-9. パワーセーブの設定をする」(P.31)
	電源ランプ		「3-10. 電源ランプの表示を設定する」(P.31)
メニュー設定	言語選択		表示言語を設定する 英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / スウェーデン語 / 日本語 / 中国語（簡体）/ 中国語（繁体）
	メニューポジション		調整メニューの表示位置を設定する

ツール	入力切替	「5-2. 2 台以上のコンピュータを接続する」(P.37)
	モード設定	「3-5. モード選択の有効 / 無効を設定する」(P.29)
	入力信号情報	現在表示している入力信号の情報を表示する
	モニター情報	本機に関する情報を表示する
	オールリセット	「3-11. お買い上げ時の設定に戻す」(P.32)

※＜カラー＞メニューで調整 / 設定できる機能はモード (P.23) により異なります。表は Custom モードの場合の項目です。(「3-3. カラー調整をする」(P.23) 参照)

3 - 2. 画面を正しく表示する

デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、詳細な調整をおこなう場合は「3-3. カラー調整をする（P.23）」以降を参照してください。

アナログ信号入力の場合

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約 30 分かかります。）

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

以下の条件を全て満たした場合にセルフアジャスト機能（自動画面調整機能）が働きます。
- モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直周波数、水平周波数に変更した場合
- 垂直解像度が 480 を超える信号を入力している場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、以下の調整手順に従って画面の調整をしてください。

［調整手順］

1 自動調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する［自動調整］

調整方法

1. 調整メニューの＜スクリーン＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜スクリーン＞メニューで＜アナログ調整＞を選択し、○ を押します。
3. ＜自動調整＞を選択して、○ を押します。
   自動調整機能が働き（「実行中」とメッセージが表示されます）、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。
   自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して ○ を押します。

注意点

- この機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
- 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

1 の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順 5 の「色階調を自動調整する［レンジ調整］」にお進みください。

2 アナログ画面調整用のパターンを準備します。

当社の Web サイト（http://www.eizo.co.jp）から「画面調整パターン集」をダウンロードしてください。

参考

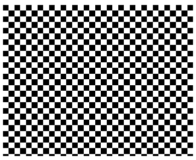
- 画面調整パターン集の開きかたおよび内容については、ダウンロードした Readmeja.txt ファイル を参照してください。

3 アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する［自動調整］

調整方法

1. 画面調整パターン集を使用して、パターン 1 を全画面に表示します。



2. 調整メニューの＜スクリーン＞メニューを選択し、○ を押します。
3. ＜スクリーン＞メニューで＜アナログ調整＞を選択し、○ を押します。
   以降の調整は＜スクリーン＞メニューの < アナログ調整 > 内の項目を選択しておこないます。

4. ＜自動調整＞を選択して、○ を押します。
   自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。
   自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して ○ を押します。

> 3 の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順 5 の「色階調を自動調整する［レンジ調整］」にお進みください。

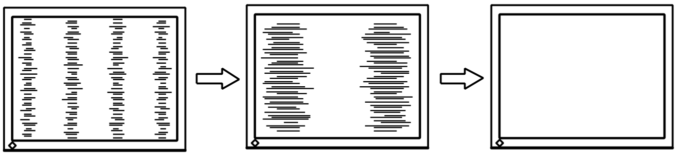
4 ＜スクリーン＞メニューの＜アナログ調整＞で詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

● 縦縞を消す［クロック］

調整方法

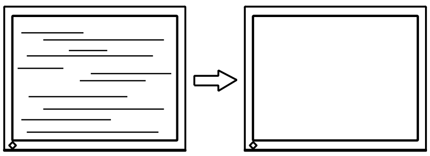
1. ＜アナログ調整＞メニューで＜クロック＞を選択し、○ を押します。
2. △ または ▽ で縦縞が消えるように調整します。
   調整が合ったポイントを見逃しやすいので △▽ をゆっくり押して調整するようにしてください
3. 調整が完了したら ○ を押します。
   調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる［フェーズ］」にすすみ調整をおこなってください。



● ちらつきやにじみをとる［フェーズ］

調整方法

1. ＜アナログ調整＞メニューで＜フェーズ＞を選択し、○ を押します。
2. △ または ▽ で最もちらつきやにじみのない画面に調整します。
3. 調整が完了したら ○ を押します。



注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

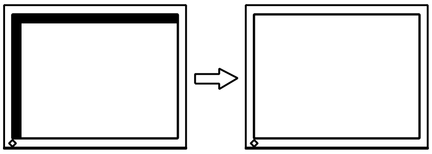
● 表示位置のずれを直す［水平ポジション］[垂直ポジション]

参考

- 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は 1 箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定方法

1. ＜アナログ調整＞メニューで＜水平ポジション＞または＜垂直ポジション＞を選択し、○ を押します。
2. 画像の位置が合うように △ または ▽ で調整します。
3. 調整が完了したら ○ を押します。



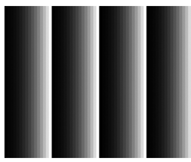
5 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する［レンジ調整］

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0 ～ 255）を表示できるように調整できます。

調整方法

1. 画面調整パターン集を使用して、パターン 2 を全画面に表示します。



2. ＜アナログ調整＞メニューで＜レンジ調整＞を選択し、○ を押します。
   色階調が自動的に調整されます。
   自動調整が完了するとメッセージが表示されます。確定する場合は「OK」を、元に戻す場合は「キャンセル」を選択して ○ を押します。
3. パターン 2 を閉じます。

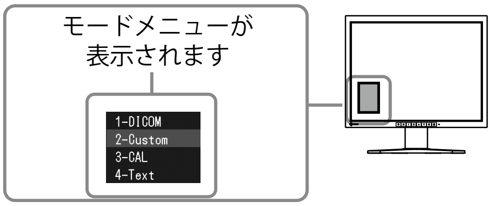
3 - 3. カラー調整をする

● 表示モード（CAL Switch モード）を選ぶ

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

モード	用途
1-DICOM	DICOM で表示したい場合に選択します。
2-Custom	好みに応じた色設定をおこなう際に選択します。
3-CAL	キャリブレーションソフトウェアによる調整状態で表示します。
4-Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。



設定方法

1. M を押します。
   モードメニューが画面左下に表示されます。
2. M を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。
   モードメニュー表示中は、△ または ▽ でモードを切り替えることもできます。

→ **1-DICOM ←→ 2-Custom ←→ 3-CAL ←→ 4-Text ←**

参考

- 調整メニューとモードメニューを同時に表示させることはできません。
- 特定のモードを選択できないようにすることができます。詳細は「3-5. モード選択の有効 / 無効を設定する」(P.29) を参照してください。

● 詳細な調整をする

調整メニューの＜カラー＞メニューで、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。
  （内部の電気部品の動作が安定するのに約 30 分かかります。）
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください。（「色階調を自動調整する」P.22 参照）
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

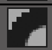
日本語

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整 / 設定できない機能は選択できません）

各モードの調整 / 設定内容はすべての入力信号に対して適用されます。

○：調整可　—：調整不可

アイコン	機能名	CAL Switch モード			
		1-DICOM ※	2-Custom ※	3-CAL ※	4-Text
	ブライトネス	○	○	○	○
	コントラスト	—	○	—	○
	色温度	—	○	—	○
	ガンマ	—	○	—	○
	色合い	—	○	—	○
	色の濃さ	—	○	—	○
	輪郭補正	—	○	—	○
	ゲイン	—	○	—	—
	6 色調整	—	○	—	—
	カラーリセット	○	○	○	○

※ 本機専用のキャリブレーションキット（RadiCS LE / オプション P.42 参照）を使用して、このモードでキャリブレーションをおこなった場合、調整項目はブライトネスとリセットのみになります。

● ブライトネス（明るさ）を調整する［ブライトネス］

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

調整範囲：0 ～ 100%

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、○を押します。
2. ＜カラー＞メニューで＜ブライトネス＞を選択し、○を押します。
3. △または▽で調整します。
4. 調整が完了したら○を押します。

参考

- △▽ボタンで調整することもできます。
- ブライトネスが 0%でも画面が明るいと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。

● コントラストを調整する［コントラスト］

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。
調整範囲：0 ～ 100%

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜カラー＞メニューで＜コントラスト＞を選択し、○ を押します。
3. △ または ▽ で調整します。
4. 調整が完了したら ○ を押します。

参考

- 100% で全ての色階調を表示します。
- 画面の明るさは、はじめに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをおすすめします。
- コントラスト調整は以下のような場合に使用してください。
  - ブライトネスが 0% でも画面が明るいと感じた時（コントラストを 100% 以下に設定します）

● 色温度を調整する［色温度］

色温度を調整します。
通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K:Kelvin（ケルビン）という単位で表します。
炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。
調整範囲： Native、6000K ～ 15000K（500K 単位、9300K 含む）

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜カラー＞メニューで＜色温度＞を選択し、○ を押します。
3. △ または ▽ で調整します。
4. 調整が完了したら ○ を押します。

参考

- [ゲイン] でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する [ゲイン]」P.27 参照）。
- 「Native」でパネル本来の色（ゲインの値は RGB 各 100%）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。

日本語

● ガンマを調整する［ガンマ］

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

調整範囲：1.8 ～ 2.6

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜カラー＞メニューで＜ガンマ＞を選択し、○ を押します。
3. △ または ▽ で調整します。
4. 調整が完了したら ○ を押します。

● 色合いを調整する［色合い］

色合いを調整します。

調整範囲：-100 ～ 100

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜カラー＞メニューで＜詳細設定＞を選択し、○ を押します。
3. ＜色合い＞を選択し、○ を押します。
4. △ または ▽ で調整します。
5. 調整が完了したら ○ を押します。

注意点

- 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 色の濃さを調整する［色の濃さ］

色の濃さを調整します。

調整範囲：-100 ～ 100

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜カラー＞メニューで＜詳細設定＞を選択し、○ を押します。
3. ＜色の濃さ＞を選択し、○ を押します。
4. △ または ▽ で調整します。
5. 調整が完了したら ○ を押します。

注意点

- 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 最小値 (-100) で白黒の画面となります。

● 輪郭補正をする [輪郭補正]

推奨解像度よりも低い解像度で表示している場合、「フル」または「拡大」モードで表示しているときは、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。＜輪郭補正＞を調整して画像をシャープにすることができます。

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜カラー＞メニューで＜詳細設定＞を選択し、○ を押します。
3. ＜輪郭補正＞を選択し、○ を押します。
4. △ または ▽ で、表示状態を -3 ～ 3（ソフト～シャープ）の範囲から好みに応じて選択します。
5. 調整が完了したら ○ を押します。

● ゲインを調整する［ゲイン］

色を構成する赤･緑･青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」（各色の入力信号が最大のとき）の色調を変更することができます。

調整範囲：0 ～ 100%

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜カラー＞メニューで＜詳細設定＞を選択し、○ を押します。
3. ＜ゲイン＞を選択し、○ を押します。
4. ＜ Red ＞、＜ Green ＞、＜ Blue ＞の中から調整する色を選択し、を押します。
5. △ または ▽ で調整します。
6. 調整が完了したら ○ を押します。

参考

- 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。

日本語

● 6 色調整をする［6 色調整］

Magenta、Red、Yellow、Green、Cyan、Blue の色合いおよび色の濃さを個別に調整します。

調整範囲：-100 ～ 100

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜カラー＞メニューで＜詳細設定＞を選択し、○ を押します。
3. ＜ 6 色調整＞を選択し、○ を押します。
4. ＜ Magenta ＞、＜ Red ＞、＜ Yellow ＞、＜ Green ＞、＜ Cyan ＞、＜ Blue ＞の中から調整する色を選択し、を押します。
5. ＜色合い＞または＜色の濃さ＞を選択し、○ を押します。
6. △ または ▽ で調整します。
7. 調整が完了したら ○ を押します。

3 - 4. 推奨解像度以外でご使用の場合

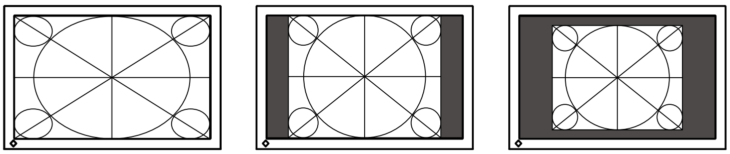
● 表示サイズを切り替える [画面サイズ]

推奨解像度以外の解像度は、自動で画面いっぱいに拡大されますが、
＜スクリーン＞メニューの＜画面サイズ＞機能を使用して表示サイズを切替えることができます。

メニュー	機　　能
フル	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル（初期設定）	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1280 × 1024 を表示した場合

フル　　拡大　　ノーマル（初期設定）



（1600 × 1200）　（1500 × 1200）　（1280 × 1024）

設定方法

1. 調整メニューの＜スクリーン＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜スクリーン＞メニューで＜画面サイズ＞を選択し、○ を押します。
3. △ または ▽ で「フル」/「拡大」/「ノーマル」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ○ を押します。

3-5. モード選択の有効 / 無効を設定する [モード設定]

モードを選択するときに、設定したモードだけを選択することができます。
表示するモードが限定されている場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。

設定方法

1. 調整メニューの<ツール>メニューを選択し、○ を押します。
2. <ツール>メニューで<モード設定>を選択し、○ を押します。
3. △ または ▽ でで設定を変更するモードを選択し、○ を押します。
4. △ または ▽ で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ○ 押します。

注意点

- すべてのモードを無効にすることはできません。 1 つ以上のモードを「オン」に設定してください。

3 - 6. 操作ボタンをロックする [操作ロック]

調整 / 設定した状態を変更できないようにします。

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. M を押しながら ⏻ を 2 秒以上押してモニターの電源を入れます。
   オプション設定メニューが表示されます。
3. <オプション設定>メニューより<操作ロック>を選択し、○ を押します。
4. △ または ▽ で「オフ」/「メニュー」/「オール」のいずれかを選択し、○ を押します。

設定項目	ロックできるボタン
オフ （初期設定）	なし（全てのボタンが有効）
メニュー	○ボタン △ ▽ ボタン
オール	⏻ボタンを除くすべてのボタン

5. △ または ▽ で「完了」を選択します。
6. ○ を押します。
   オプション設定メニューが閉じます。

日本語

3 - 7. EIZO ロゴ表示を設定する [起動ロゴ]

本機の電源を入れた時に、EIZO ロゴが表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り替えができます。（初期設定：オフ）

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. M を押しながら ⏻ を 2 秒以上押してモニターの電源を入れます。
   オプション設定メニューが表示されます。
3. ＜オプション設定＞メニューより＜起動ロゴ＞を選択し、○ を押します。
4. △ または ▽ で「オン」または「オフ」を選択し、○ を押します。
5. △ または ▽ で「完了」を選択します。
6. ○ を押します。
   オプション設定メニューが閉じます。

3 - 8. 設置方向を設定する

● Image Rotation 機能を使用する [Image Rotation]

Image Rotation は、パネル部の回転にともなって画像の表示方向を変更させる機能です。（初期設定：オン）

注意点

- パネル部を回転させてから画像が表示されるまでに、時間がかかる場合があります。
- 使用するグラフィックカードおよび OS によっては正常に表示されない場合があります。
- デュアルモニターで Image Rotation 機能を実行すると、どちらかのモニターの表示が消えることがあります。その場合は、「画面のプロパティ」で消えた方の画面を再表示させてください（Windows のみ）。

設定方法

1. 調整メニューの＜スクリーン＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜スクリーン＞メニューで＜画像回転＞を選択し、○ を押します。
3. △ または ▽ で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ○ を押します。

実行方法

1. モニターのパネル部を 90°回転させます。
   ＜画像回転＞機能が初期設定では「 オン 」になっていますので、パネル部の設置方向にあわせた画像が表示されます。
2. 表示画像が伸縮している場合は、コンピュータを再起動します。
   使用するグラフィックカードおよび OS によっては正常に表示されない場合があります。再起動後も表示画像が伸縮している場合は、コンピュータの画面解像度の設定を変更してみてください。

3 - 9. パワーセーブの設定をする［パワーセーブ］

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする / しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- 主電源スイッチをオフにするか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが省電力モードの場合、またモニターの電源ボタンをオフにしても、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。

各信号入力に対し、以下の規格に準拠しています。

信号入力		規格
アナログ信号		VESA DPM
デジタル信号	DVI	DVI DMPM
	DisplayPort	DisplayPort Standard V1.1a

設定方法

1. 調整メニューの＜ PowerManager ＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜ PowerManager ＞メニューで＜パワーセーブ＞を選択し、○ を押します。
3. △ または ▽ で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ○ を押します。

省電力の流れ

コンピュータの設定に連動し省電力モードに入ります。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙

3 - 10. 電源ランプの表示を設定する［電源ランプ］

画面表示時の電源ランプ（青）の輝度を設定することができます（初期設定では、電源ランプは電源を入れたときに点灯し、4 に設定されています）。

設定方法

1. 調整メニューの＜ PowerManager ＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜ PowerManager ＞メニューで＜電源ランプ＞を選択し、○ を押します。
3. △ または ▽ で電源ランプの明るさを「オフ」または 1 ～ 7 の範囲から好みに応じて選択します。
4. 設定が完了したら ○ を押します。

3 - 11. お買い上げ時の設定に戻す

リセットには、カラー調整のみを工場出荷状態に戻すカラーリセットと、すべての設定内容を工場出荷状態に戻すオールリセットの 2 種類があります。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「主な初期設定（工場出荷設定）値」（P.40）をご覧ください。

● カラー調整値をリセットする [カラーリセット]

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期状態（工場出荷状態）に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、[○] を押します。
2. ＜カラー＞メニューで＜カラーリセット＞を選択し、[○] を押します。
3. [△] または [▽] で「実行」を選択します。
4. [○] を押します。
   カラー調整値が初期状態になります。

● すべての設定内容をリセットする [オールリセット]

すべての設定内容を初期状態（工場出荷状態）に戻します。

設定方法

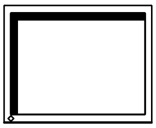
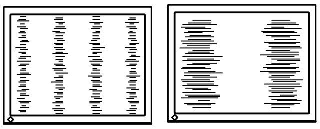
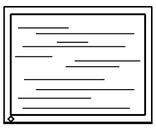
1. 調整メニューの＜ツール＞メニューを選択し、[○] を押します。
2. ＜ツール＞メニューで＜オールリセット＞を選択し、[○] を押します。
3. [△] または [▽] で「実行」を選択します。
4. [○] を押します。
   すべての設定内容が初期状態になります。

第 4 章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店または EIZO サポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- 画面に関する症状（デジタル信号の場合）→ 項目 3 ～ 8 を参照してください。
- 画面に関する症状（アナログ信号の場合）→ 項目 3 ～ 12 を参照してください。
- その他の症状 → 項目 13 ～ 16 を参照してください。

症　　状	原因と対処方法
1.　画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	・電源コードは正しく差し込まれていますか。 ・主電源スイッチをオンにしてください。 ・ を押してください。 ・主電源をオフにし、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
・電源ランプが点灯：青色	・＜ブライトネス＞、＜コントラスト＞、＜ゲイン＞の各調整値を上げてみてください（P.25、P.27 参照）。
・電源ランプが点灯：橙色	・ で入力信号を切り替えてみてください。 ・マウス、キーボードを操作してみてください。 ・コンピュータの電源は入っていますか。
2.　以下のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
・信号が入力されていない場合の表示です。 例： 	・コンピュータによっては電源オン時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 ・コンピュータの電源は入っていますか。 ・信号ケーブルは正しく接続されていますか。 ・ で入力信号を切り替えてみてください。
・入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です（範囲外の周波数は赤色で表示されます）。 例： 	・コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直周波数になっていますか。（セットアップマニュアル「表示解像度について」参照） ・コンピュータを再起動してみてください。 ・グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。 fD：ドットクロック （デジタル信号入力時のみ表示されます） fH：水平周波数 fV：垂直周波数

症　　状	原因と対処方法
3.　画面が明るすぎる / 暗すぎる	• ＜ブライトネス＞、＜コントラスト＞を調整してください（LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZO サポートにご相談ください）。
4.　文字がぼやけて見える	• コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直周波数になっていますか。 • ＜輪郭補正＞で調整してみてください（P.27 参照）。
5.　残像が現れる	• 長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバーを設定したり、オフタイマー機能を活用してください。 • この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。
6.　画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
7.　画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
8.　画面にノイズがあらわれる	• HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
9.　画像がずれている 	• ＜水平ポジション＞または＜垂直ポジション＞で画像の位置を合わせてください（P.22 参照）。 • グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
10.　画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている 	• ＜クロック＞で調整してみてください（P.21 参照）。
11.　画面全体がちらつく、にじむように見える 	• ＜フェーズ＞で調整してみてください（P.21 参照）。
12.　画面の上部が下図のように歪む 	• コンポジットシンク（X-OR）の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。
13.　調整メニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（P.29 参照）。

症　　状	原因と対処方法
14. モードメニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（P.29 参照）。
15. 自動調整機能が動作しない	• 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 • この機能は Windows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 • 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
16. USB ケーブルで接続したモニターが認識されない／モニターに接続している USB 周辺機器が動作しない	• USB ケーブルは正しく差し込まれていますか。（P.38 参照） • 別の USB ポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、EIZO サポートにご相談ください（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください）。 • コンピュータを再起動してみてください。 • 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、お買い求めの販売店または EIZO サポートにご相談ください。 • ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください（各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください）。 • Windows をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください）。

日本語

第 5 章　ご参考に

5 - 1. オプションアームを取り付ける

本機はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社の Web サイトをご覧ください。

http://www.eizo.co.jp

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものをお選びください。
  - 取付部のネジ穴間隔：100mm × 100mm
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、以下の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上 45°下 45°（横表示時、および時計回り 90°に縦表示時）
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。
- 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- モニターおよびアームは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

[取付方法]

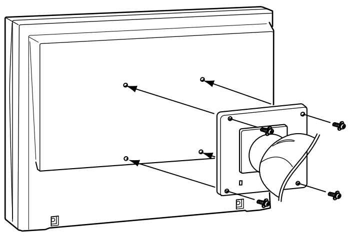
1 **液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。**

2 **スタンド部分を取り外します。(別途ドライバを準備ください。)**

ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ 4 箇所を取り外します。

3 **モニターをアームまたはスタンドに取り付けます。**

アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のネジを使って取り付けます。

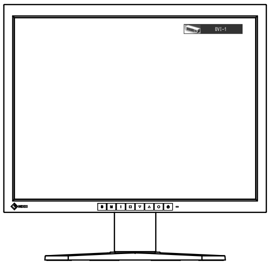


5-2. 2 台以上のコンピュータを接続する

本機は、背面の DVI-I、DisplayPort コネクタに 2 台以上のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

● 入力信号を切り替える

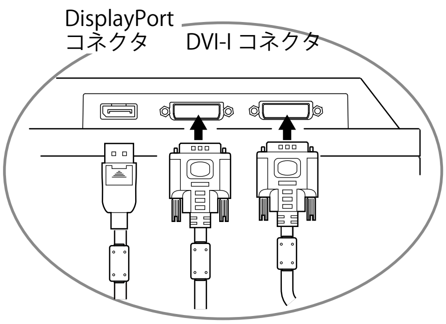
S を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



● 入力信号の切替方法を設定する [入力切替]

コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。

優先設定	機　能
オート	コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示します。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。操作ボタンの S で表示させたい入力信号を選択してください。



設定方法

1. 調整メニューの＜ツール＞メニューを選択し、○ を押します。
2. ＜ツール＞メニューで＜入力切替＞を選択し、○ を押します。
   ＜入力切替＞メニューが表示されます。
3. △ または ▽ で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら ○ を押します。

注意点

- 「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

5 - 3. USB(Universal Serial Bus) の活用について

本機は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブとして機能し、USB に対応している周辺機器と接続できます。

● 必要なシステム環境

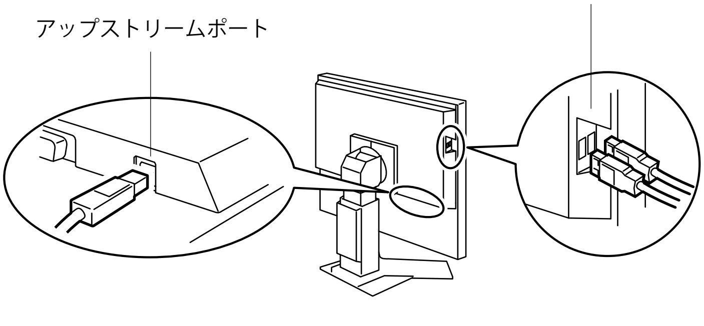
1. USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
2. Windows 2000/XP/Vista/7/8 または Mac OS 9.2.2 および Mac OSX 10.2 以降
3. EIZO USB ケーブル（MD-C93）

注意点

- 使用するコンピュータ、OS および周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源ボタンがオフの場合、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチがオフの場合は、USB ポートに接続されている機器は動作しません。

● 接続方法（USB 機能のセットアップ方法）

1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
2. USB 対応のコンピュータ（あるいは他の USB ハブ）のダウンストリームとモニターのアップストリームを USB ケーブルで接続します。
   USB ケーブルの接続により自動的に USB のハブ機能がセットアップされます。
3. USB 対応の周辺機器をモニターの USB ポート（ダウンストリーム）に接続します。



5‐4. 仕様

液晶パネル	サイズ	54cm（21.3）型　カラー TFT
	表面処理	アンチグレア
	表面硬度	3H
	視野角	視野角：左右 170°、上下 170°（CR ≧ 10）
	ドットピッチ	0.270mm
	応答速度	約 25ms
水平走査周波数	アナログ	31 ～ 100kHz
	デジタル	31 ～ 100kHz
垂直走査周波数	アナログ	49 ～ 86Hz（1600 × 1200 時：49 ～ 60Hz）
	デジタル	59 ～ 61Hz（VGA TEXT 時：69 ～ 71Hz）
解像度		1600 ドット× 1200 ライン
ドットクロック（最大）	アナログ	170MHz
	デジタル	164.5MHz
最大表示色		約 10 億 7374 万色（DisplayPort 10bit 入力時）
推奨輝度		150cd/m^2 色温度 : 7500K 時
表示サイズ（水平×垂直）		432.0mm × 324.0mm
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、0.65A
消費電力	画面表示時	64W 以下（USB 機器接続時） 57W 以下（USB 機器非接続時）
	省電力モード時	1.0W 以下（DVI-I 1 系統入力時、USB 機器非接続時、［入力信号］:「マニュアル」設定時）
	電源ボタンオフ時	0.8W 以下（USB 機器非接続時）
	主電源スイッチオフ時	0W
信号入力コネクタ		DVI-I コネクタ（HDCP 対応）× 2
		DisplayPort コネクタ (Standard V1.1a 準拠、HDCP 対応)
アナログ信号　入力同期信号		セパレート、TTL、正 / 負極性 コンポジット、TTL、正 / 負極性 シンクオングリーン、0.3Vp-p、負極性（DVI-1 のみ）
アナログ信号　入力映像信号		アナログ、正極性（0.7Vp-p/75 Ω）
デジタル（DVI) 信号伝送方式		TMDS（Single Link）
ビデオ信号メモリー（最大）	アナログ	45 種
プラグ＆プレイ機能		アナログ / デジタル（DVI-I）信号入力時： VESA DDC 2B/EDID structure 1.3 デジタル（DisplayPort）信号入力時： VESA DisplayPort/EDID structure 1.4
寸法	本体	472mm（幅）× 459 ～ 541mm（高さ）× 208.5mm（奥行き）
	本体（スタンドなし）	472mm（幅）× 373mm（高さ）× 69mm（奥行き）
質量	本体	約 10.3kg
	本体（スタンドなし）	約 7.1kg
可動範囲	ハイトアジャスタブルスタンド	チルト角度：上 40°下 0° スィーベル角度：右 35°左 35° 昇降：82mm ローテーション：90°（時計回り）
環境条件	温度	動作温度範囲：0℃～ 35℃ 輸送および保存温度範囲：-20℃～ 60℃
	湿度	動作湿度範囲：20% ～ 80% R.H.（非結露状態） 輸送および保存湿度範囲：10% ～ 80% R.H.（非結露状態）
	気圧	動作気圧範囲：700hPa ～ 1060hPa 輸送および保存気圧範囲：200hPa ～ 1060hPa

USB	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠
	ポート	アップストリーム× 1、ダウンストリーム× 2
	通信速度	480Mbps（ハイスピード）、12Mbps（フルスピード）、1.5Mbps（ロースピード）
	供給電源	ダウンストリーム：最大 500mA/1 ポート

主な初期設定（工場出荷設定）値

CAL Switch モード：工場出荷時の表示設定は 1-DICOM モードです。

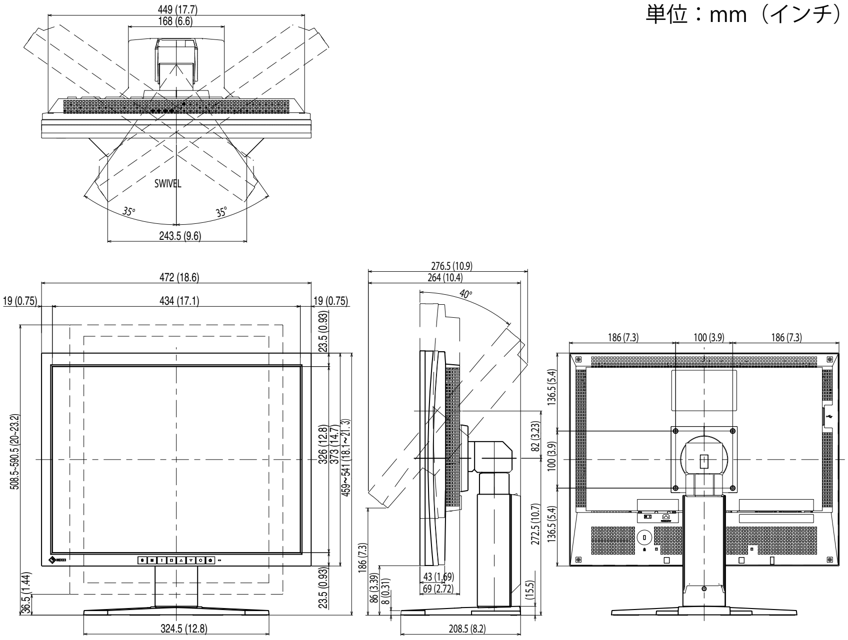
	輝度	色温度	ガンマ値
1-DICOM	150cd/m^2	7500K	DICOM
2-Custom	約 300cd/m^2	7500K	2.2
3-CAL	150cd/m^2	7500K	DICOM
4-Text	約 100cd/m^2	7500K	2.2

その他

パワーセーブ	オン
入力切替	オート
画面サイズ	ノーマル
輪郭補正	0
起動ロゴ	オフ
メニューポジション	中央
言語選択	日本語

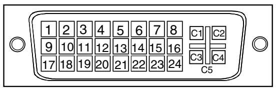
外観寸法

単位：mm（インチ）



入力信号接続

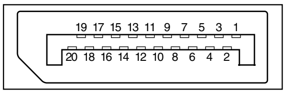
- DVI-I コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	T.M.D.S. Data 2-	11	T.M.D.S. Data1/3 Shield	21	NC*
2	T.M.D.S. Data 2+	12	NC*	22	T.M.D.S. Clock shield
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield	13	NC*	23	T.M.D.S. Clock+
4	NC*	14	+5V Power	24	T.M.D.S. Clock-
5	NC*	15	Ground（return for +5V, Hsync, and Vsync）	C1	Analog Red
6	DDC Clock（SCL）	16	Hot Plug Detect	C2	Analog Green
7	DDC Data（SDA）	17	T.M.D.S. Data0-	C3	Analog Blue
8	Analog Vertical Sync	18	T.M.D.S. Data0+	C4	Analog Horizontal Sync
9	T.M.D.S. Data1-	19	T.M.D.S. Data0/5 Shield	C5	Analog Ground(analog R,G,&B return)
10	T.M.D.S. Data1+	20	NC*		

（NC*: No Connection）

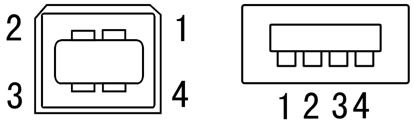
- DisplayPort コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	ML Lane3-	8	Ground	15	AUX CH+
2	Ground	9	ML Lane1+	16	Ground
3	ML Lane3+	10	ML Lane0-	17	AUX CH-
4	ML Lane2-	11	Ground	18	Hot Plug Detect
5	Ground	12	ML Lane0+	19	Return
6	ML Lane2+	13	CONFIG1	20	DP PWR
7	ML Lane1-	14	CONFIG2		

- USB ポート

アップストリーム　ダウンストリーム



シリーズ B コネクタ　シリーズ A コネクタ

接点番号	信号名	備考
1	VCC	ケーブル電源
2	- Data	シリアルデータ
3	+ Data	シリアルデータ
4	Ground	ケーブルグランド

別売オプション品

キャリブレーションキット	EIZO「RadiCS UX1」Ver.3.3.1 以降
ネットワーク QC 管理ソフトウェア	EIZO「RadiNET Pro」Ver.3.3.1 以降 EIZO「RadiNET Pro Lite」Ver.3.3.1 以降
クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」

オプション品に関する最新情報および最新の対応グラフィックスボード情報は、当社の Web サイトを参照してください。

http://www.eizo.co.jp

5 - 5. 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：ケルビン（Kelvin）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K：やや赤みがかった白色
6500K：暖色で紙色に近い白色
9300K：やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機種の場合は横　1600 個、縦 1200 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため 1600 × 1200 の解像度であれば、画像は画面いっぱい（1 対 1）に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。 3 色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

レンジ調整

アナログ信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DICOM（Digital Imaging and Communication in Medicine）

米国放射線学会（American College of Ragiology）と北米電子機器工業会（National Electric Manufacturers Association）が開発した医用画像と通信の標準規格です。
DICOM に準拠した機器を相互接続することにより、画像検査情報や画像データの伝送が可能になります。DICOM Part 14 は DICOM 規格の中でデジタル医用画像の視覚的解釈を統一し、グレースケールイメージの表示について規格化したものです。

DisplayPort

パソコンや音響、映像機器などをモニターに接続する次世代デジタル AV インターフェースです。1 本のケーブルで映像とともに音声も伝送できます。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。
伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON（オペレーションモード）と Active Off（省電力モード）が必須となっています。

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。
DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。
出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPM（Video Electronics Standards Association - Display Power Management）

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPM はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

廃棄およびリサイクルについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。

当社製品は、業界団体「パソコン 3R 推進協会」が回収させていただきます。
回収を希望されるお客様は当社の Web サイトよりお申し込みください。
（http://www.eizo.co.jp）

※ 本製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。

日本語

APPENDIX/ANHANG/ANNEXE/ 附录 / 付録

Preset Timing
Voreingestellte Taktraten
Synchronisation prédéfinie
预设定时
プリセットタイミング

The following table shows factory preset video timing (for analog signal only)

Die folgende Tabelle enthält die werkseitig voreingestellten Videotaktraten (nur bei analogem Signal)

Le tableau suivant indique la synchronisation vidéo prédéfinie en usine (pour les signaux analogiques uniquement).

下表列出出厂预设的视频定时（仅适用模拟信号）。

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです（アナログ信号のみ）。

NOTE

- **Display position may be deviated depending on the PC connected, which may require screen adjustment using Adjustment menu.**
- **If a signal other than those listed in the table is input, adjust the screen using the Adjustment menu. However, screen display may still be incorrect even after the adjustment.**
- **When interlace signals are used, the screen cannot be displayed correctly even after screen adjustment using the Adjustment menu.**

HINWEIS

- **Je nach angeschlossenem PC kann die Anzeigeposition variieren, sodass Justierungen mithilfe des Justierungsmenüs erforderlich sein können.**
- **Wird ein Eingangssignal verwendet, das in der Tabelle nicht aufgeführt ist, passen Sie den Bildschirm mithilfe des Justierungsmenüs an. In manchen Fällen kann es jedoch vorkommen, dass das Bild auch nach den vorgenommen Justierungen nicht korrekt angezeigt wird.**
- **Bei Verwendung von Interlace-Signalen kann das Bild auch nach den vorgenommenen Justierungen im Justierungsmenü nicht korrekt dargestellt werden.**

NOTE

- **La position de l'écran est décalée en fonction du PC branché, ce qui peut nécessiter un réglage de l' écran à l'aide du menu Ajustage.**
- **Si un signal différent de ceux énumérés dans le tableau est entré, ajustez l'écran à l'aide du menu Ajustage. Cependant, l'affichage à l'écran peut toujours être incorrect même après l'ajustage.**
- **Lorsque des signaux entrelacés sont utilisés, l'écran ne peut pas s'afficher correctement même après un réglage de l'écran à l'aide du menu Ajustage.**

注意

- 视所连接的PC而定，屏幕位置可能会稍有偏移，可能需要使用调整菜单进行屏幕调整。
- 如果输入的信号不在表中所列范围内，请使用调整菜单调整屏幕。但是，即使调整后，屏幕显示仍有可能不正确。
- 当使用隔行信号时，即使使用调整菜单调整屏幕后，也无法正确显示画面。

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

Resolution 解像度	Applicable signal 対応信号	Frequency 周波数			Polarity 極　性	
		Dot clock: ドットクロック：MHz	Horizontal: 水平：kHz	Vertical: 垂直：Hz	Horizontal 水平	Vertical 垂直
720 × 400	VGA TEXT	28.32	31.46	70.09	Nega 負	Posi 正
640 × 480	VGA	25.18	31.46	59.94	Nega 負	Nega 負
640 × 480	VESA	31.50	37.86	72.81	Nega 負	Nega 負
640 × 480	VESA	31.50	37.50	75.00	Nega 負	Nega 負
640 × 480	VESA	36.00	43.26	85.01	Nega 負	Nega 負
800 × 600	VESA	36.00	35.15	56.25	Posi 正	Posi 正
800 × 600	VESA	40.00	37.87	60.32	Posi 正	Posi 正
800 × 600	VESA	50.00	48.07	72.19	Posi 正	Posi 正
800 × 600	VESA	49.50	46.87	75.00	Posi 正	Posi 正
800 × 600	VESA	56.25	53.67	85.06	Posi 正	Posi 正
1024 × 768	VESA	65.00	48.36	60.00	Nega 負	Nega 負
1024 × 768	VESA	75.00	56.47	70.07	Nega 負	Nega 負
1024 × 768	VESA	78.75	60.02	75.03	Posi 正	Posi 正
1024 × 768	VESA	94.50	68.67	85.00	Posi 正	Posi 正
1152 × 864	VESA	108.00	67.50	75.00	Posi 正	Posi 正
1280 × 960	VESA	108.00	60.00	60.00	Posi 正	Posi 正
1280 × 1024	VESA	108.00	63.98	60.02	Posi 正	Posi 正
1280 × 1024	VESA	135.00	79.97	75.03	Posi 正	Posi 正
1280 × 1024	VESA	157.50	91.15	85.03	Posi 正	Posi 正
1600 × 1200	VESA	161.99	75.00	60.00	Posi 正	Posi 正
1152 × 900	W S	94.20	61.97	66.14	Nega 負	Nega 負
1152 × 900	W S	107.50	71.85	76.20	Nega 負	Nega 負
1280 × 1024	W S	117.00	71.69	67.19	Nega 負	Nega 負
1200 × 1600		162.25	99.41	59.96	Nega 負	Posi 正

关于电子信息产品污染控制标识

本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅（Pb）	汞（Hg）	镉（Cd）	六价铬（Cr（VI））	多溴联苯（PBB）	多溴二苯醚（PBDE）
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	×	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○： 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。

×： 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。

（企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

EIZO Corporation
153 Shimokashiwano, Hakusan, Ishikawa 924-8566 Japan
Phone: +81 76 277 6792 Fax: +81 76 277 6793

艺卓显像技术(苏州)有限公司
中国苏州市苏州工业园区展业路8号中新科技工业坊5B
Phone: +86 512 6252 0100 Fax: +86 512 6252 1508

EIZO株式会社
〒924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地

EC REP
EIZO GmbH
Siemensallee 84, 76187 Karlsruhe, Germany
Phone: +49 721 20321 0 Fax: +49 721 20321 471

http://www.eizo.com
http://www.eizo.co.jp

PRINTED WITH SOY INK

6th Edition-January, 2014 Printed in Japan.

00N0L517F1
(U.M-RS210)